

保健医療福祉行政論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

地域看護活動の基盤となっている保健医療福祉行政の理念と仕組みを学び、保健医療福祉制度の歴史の変遷を理解することで、保健師活動と制度の関連を認識する。医療提供体制および医療保険制度・介護保険制度について学び、個別サービスとしての制度を理解する。また、地方自治体の保健医療計画、福祉計画、介護保険計画を学ぶことで計画行政を理解し、予算の仕組みと事業展開について学修し、行政機関における保健師の役割・機能を認識する。

・教育成果（アウトカム）

保健医療福祉行政について学び、ライフステージや健康課題に応じた健康支援・生活支援のための法的基盤および財政を理解できる。また、住民の健康課題に対する自治体の政策形成過程について実践的に学び、施策への住民参加と計画策定から評価の過程を理解できる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 保健医療福祉行政の根拠や役割について説明できる。
2. 保健医療福祉における各分野の制度の仕組みと機能・対策の実際や動向について理解できる。
3. 行政・財政の仕組みについて基本的な理解ができる。
4. 保健医療施策の計画立案・実施・評価の過程について理解できる。
5. 保健医療福祉行政の施策への住民参加について、その意義・方法について説明できる。

・ 授業日程

(矢) マルチ 4-A 講義室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
6/1 (木) 5 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	保健医療行政の理念としくみ (教科書 : p2~18、60-69) ・ 保健医療福祉行政の根拠を説明できる ・ 格差社会における保健医療福祉行政の役割を説明できる
6/12 (月) 4 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	行政における保健師の役割 (教科書 : p70~76、96-114) ・ 保健医療福祉のしくみと役割について説明できる ・ 行政における保健師の役割、機能、活動体制を説明できる 事後学習 : 「地域看護学Ⅱ」の保健所、市町村における活動を復習しておく
6/14 (水) 4 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	医療供給体制に関する制度 (教科書 : p131-152) ・ 医療保険制度のしくみと特徴を説明できる ・ 医療法等の医療を供給する制度について説明できる
6/19 (月) 4 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	社会保障制度 (教科書 : p154-188) ・ 社会保障・社会福祉制度の動向を理解し、保健師の役割を考える ・ 社会保障制度と保健医療福祉の連携が強化される背景を関係づける
6/21 (水) 5 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	保健医療福祉の財政 (教科書 : p79~85) (ゲストスピーカー) ・ 財政・予算の定義・区分を説明できる ・ 予算の原則・科目を把握し、県・市町村の予算を概観できる
6/26 (月) 5 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	地方公共団体の保健計画策定から評価 (教科書 : p176~208) (ペアワーク・発表) ・ 行政計画、基本構想、保健医療福祉計画の構造が説明できる ・ 県・市町村の上位計画や各種保健計画の根拠法と特徴を説明できる 事前学習 : 講義で取り上げる各種計画について、調べておく
7/3 (月) 3 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	保健福祉計画策定プロセス (教科書 : p201~226) ・ 策定プロセスの各段階のポイントを説明できる ・ 住民参画の意義について理解し、グループでディスカッションできる
7/6 (水) 3 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	医療保健福祉の地域づくりを推進する保健師活動の実際 (ゲストスピーカー) ・ ヘルスプロモーションの理念に基づく活動における保健師の役割を説明できる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準保健師講座別巻1 保健医療福祉行政論第5版	藤内 修二 他	医学書院	2021
参	これからの保健福祉行政論第3版	星 旦二 他編	日本看護協会出版会	2022
参	保健学講座5 保健医療福祉行政論	野村 陽子 他編	メヂカルフレンド社	2022
参	標準保健師講座1 公衆衛生看護概論 第6版	標 美奈子 他	医学書院	2022
参	国民衛生の動向 2022/2023	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2022

・成績評価方法

定期試験 100% にて評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、教科書の該当ページを予習すること。課題に関してグループで意見交換をする授業もある。授業終了後は主体的に自己学修を行い、知識の理解と定着に努めること。事前学修、事後学修は最低30分以上を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・レスポンスカード等については、適宜コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。
- ・試験のあとは、WebClassに必要な解説を掲載する。

【その他】

適宜、講義中に事前学修の発表時間や、教員とのディスカッションの機会を設ける。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表1）：保健医療福祉行政論

看護師（別表3）：専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影